

## 「産休サンキュープロジェクト」（第3期）への参加申込みにあたり

「産休サンキュープロジェクト」にご賛同いただき、ありがとうございます。参加いただくにあたり、以下をお読みいただき、ご了承の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

### 1. 「産休サンキュープロジェクト」とは

出産を機に、生まれたいのちと支えてくれる周囲の人に感謝し、日本で産休・育休を推進し、寄付によって開発途上国の子どもとお母さんを支援し、一緒に子どもたちを育てていくプロジェクトです。（詳細は別添「産休サンキュープロジェクト」概要を参照）

### 2. プロジェクトの実施期間

平成 30 年 1 月 1 日から平成 32 年 12 月 31 日まで（3 年間）

※ 第 1 期：平成 25 年 4 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日（2 年 9 カ月間）

第 2 期：平成 28 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日（2 年間）

※ プロジェクト終期に、支援ニーズとプロジェクト効果を勘案して継続を検討します。

### 3. 参加形態

(1) 寄付による参加（以下から選択してください）

ア. 企業・団体が年間の社員の各家庭の出産人数分を計算して寄付

イ. 子どもの誕生を迎えた社員自身等が行う寄付を企業・団体が取りまとめて寄付

ウ. 子どもの誕生を迎えた顧客等からの寄付を企業・団体が取りまとめて寄付

（販売商品の売上げの一部の寄付などを含む）

エ. 上記イまたはウに併せて、社員・顧客の寄付に上乘せ寄付

※ 社員ご本人の出産に限らず、奥様・娘様・ご友人・同僚の方の出産をきっかけにして、更に支援していただける場合は「出産件数×α」で寄付していただけると幸いです。

オ. 上記以外の方法での寄付（出産数を問わず企業・団体として一定額の寄付など）

(2) 送金時期

御社・貴団体で寄付金をとりまとめていただき、10 月（上半期）または 3 月（下半期）に日本赤十字社へご送金下さい。送金の際には、「寄付お申込書」に必要事項を記載し、日本赤十字社にメールまた FAX でご送付願います。

(3) 日本赤十字社からのニュースレター

1 年に 2 回（4 月・11 月）、ニュースレターを送付します。内容は、開発途上国での事業内容のほか、親として共感できるような出産・育児の四方山話、子どもを取り巻く保健リスク、子どものケガの手当と予防/疾病予防の知識等を予定しています。社内外のプロジェクト支援者への配布や、社内報等での啓発、あるいは御社・貴団体 CSR 活動報告等にご活用ください。

(4) 参加期間

年度単位での参加となります。参加取消のお申し出がない限り、参加は自動的に継続されます。なお、参加取消については、「5. 参加の取消」（本紙 P2）をご参照ください。

#### 4. お申込み方法

- (1) 別紙様式の参加申込書にご記入いただき、下記に送付（email 可）して下さい。  
送付先：〒105-8521 東京都港区芝大門 1-1-3  
日本赤十字社 国際部 開発協力課 産休サンキュープロジェクト担当  
e-mail：[sankyuthankyou@jrc.or.jp](mailto:sankyuthankyou@jrc.or.jp)
- (2) 日本赤十字社で書類を確認させていただき、受領完了のメールを送付します。この受領完了のメールをもって参加開始となります。
- (3) 参加いただいた企業・団体名は産休サンキュープロジェクトの推進を目的に、一般公開させていただく場合がありますので、ご了承ください。

#### 5. 参加の取消

参加いただいた企業・団体は、日本赤十字社に対し、書面（e-mail を含む）でのお申し出により、いつでもプロジェクトへの参加を取り消すことができます。また、日本赤十字社は、企業・団体が次のいずれかに該当する場合、参加を取り消すことがあります。なお、この場合においても、日本赤十字社は、企業・団体の過去の参加に伴う活動報告等に関する情報を保有し、プロジェクトに活用することができるものとさせていただきます。

- (1) 本プロジェクトの趣旨に明らかに反するような行為があったと認められるとき。
- (2) 法令、公序良俗に反する行為をしたとき。
- (3) 活動を強制したり、疑わしい行動で利益誘導を行ったと認められるとき。
- (4) 倒産、解散したとき。
- (5) その他、日本赤十字社の信用を著しく傷つける行為があったと認められるとき。

#### 6. ロゴマーク使用にあたっての注意

- (1) ロゴマーク（添付）を使用される際には、縦横比・色彩等の変更をしないで下さい。
- (2) ロゴマークを他の企業・団体（個人を含む）へ譲渡・流出することは避けて下さい。
- (3) ロゴマークのご使用は、プロジェクト参加期間に限ります。（期間内に作成した広報媒体等については、掲載終了時期まで継続して使用いただいて結構です）
- (4) ロゴマークの使用媒体に関する一切の責任を、日本赤十字社は負うものではありません。
- (5) 文言との併用等、使用にあたりご不明な点がございましたら、予めご相談下さい。

#### 7. ロゴマークデザイン

ロゴマーク①：御社のロゴと日本赤十字社のロゴ入り

ロゴマーク②：日本赤十字社のロゴ入り



## 「産休サンキュープロジェクト」概要

### プロジェクトコンセプト

生まれた場所が異なることで、誕生する我が子と同じ年の子どもたちが、日々のいのちを失っている現状に、どうぞ目を向けてください。出産を機に、生まれてくるいのちに、そして支えてくれる周りの人たちへの感謝の気持ちとともに、いのちの大切さを一緒に考えてみませんか。



ロゴマーク

### 5秒に1人、失われる命

「生まれてきたわが子が健やかに育ってくれるように」と祈る両親の気持ちは世界共通のものです。しかし、世界では5歳未満の乳幼児死者数は年間約660万人にもものぼり、実に約5秒に1人の子どもの命が失われているのです。特にサハラ以南のアフリカや南アジア、大洋州などで厳しい状況が続いています。

こうした国々における子どもたちの主な死亡の原因は、はしか、マラリア、下痢などです。日本のような高度な医療サービスがなくても、計画的な予防接種と安全な飲み水の提供、病気を予防する知識を普及することで、死亡率を下げることができます。

本プロジェクトに寄せられた資金で、生まれてきた尊い命を救います。



スワジランドの小学生に話しかける菅原直子・日赤職員

### 支援方法とご寄付の目安額

企業・団体単位で、社員や顧客の皆様からの寄付を集めていただいています。

以下を参考に、赤ちゃんの誕生につき寄付をお願いいたします。

例えば、東アフリカや南部アフリカでは・・・こんなことができます

2,000円



女性用生理用品一式  
(生理用下着、生理用品、  
洗濯用洗剤、洗濯紐など)

4,300円



食糧パック  
(5人家族1カ月分:  
豆、砂糖、石鹼など)

5,000円



制服一式  
(シャツ、ズボン、スカート、靴、  
靴下、ジャージなど)

18,000円



健康教育の  
短編映画上映  
(1村1回分)

### 支援の特典

1. 日赤の広報媒体などで、賛同企業として社名を掲載します。
2. ご要望に応じて貴社向け講演会・報告会を実施します。
3. 支援を実感できるようなフィードバック（ニュースレター）を受けられます。
4. 現地視察が可能です。 ※ 視察にかかる費用等はご負担ください。